

補助対象事業者名

日本エアコミューター株式会社

航空路名

隠岐～出雲路線

事業の概要

○隠岐～出雲路線の通年運航

【運航状況】 1往復／日

【使用機材】 SAAB340B型機(36人乗) 11機

【利用者数】 H27年度 16,083人 (H26年度 15,335人)

| 隠岐    | 出雲    | 出雲   | 隠岐    |
|-------|-------|------|-------|
| 発時刻   | 着時刻   | 発時刻  | 着時刻   |
| 10:35 | 11:10 | 9:40 | 10:10 |

| 機種  | SAAB340B | 登録番号   | 登録年月日    | 登録番号   | 登録年月日   |
|-----|----------|--------|----------|--------|---------|
| 座席数 | 36席      | JA8888 | H5.2.24  | JA8703 | H6.2.4  |
| 種別  | プロペラ     | JA8642 | H6.12.21 | JA8704 | H7.1.25 |
|     |          | JA8649 | H7.7.12  | JA8900 | H8.1.24 |
|     |          | JA8594 | H8.7.10  | JA001C | H9.7.2  |
|     |          | JA002C | H11.9.17 |        |         |

※特定機材が特定路線に就航することはないため、就航予定の全ての機材を記載。

計画・目標(Plan)

隠岐～出雲路線は、隠岐地域と行政機関・商業施設・病院等の機能が集中する本土を結ぶ重要な生活路線であり、安定した路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果、達成状況(Check)

隠岐～出雲路線を存続させ、隠岐島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線からの撤退を回避できた。

- ①運航便数: 目標どおり1日1往復(サーブ機36席)
- ②旅客数: 目標16,219人／年に対し、4月～10月の実績は9,191人／7ヶ月(前年同期比102.3%)であった。

今後の課題、改善点(Action)

隠岐地域の過疎・高齢化に伴い、利用者が減少する中で、路線維持のためには、地元自治体と連携し利用促進を図り、併せて業務の効率化、コスト削減等に引き続き努める必要がある。

経緯・現況

【経緯】昭和41年7月1日 出雲～隠岐路線開設

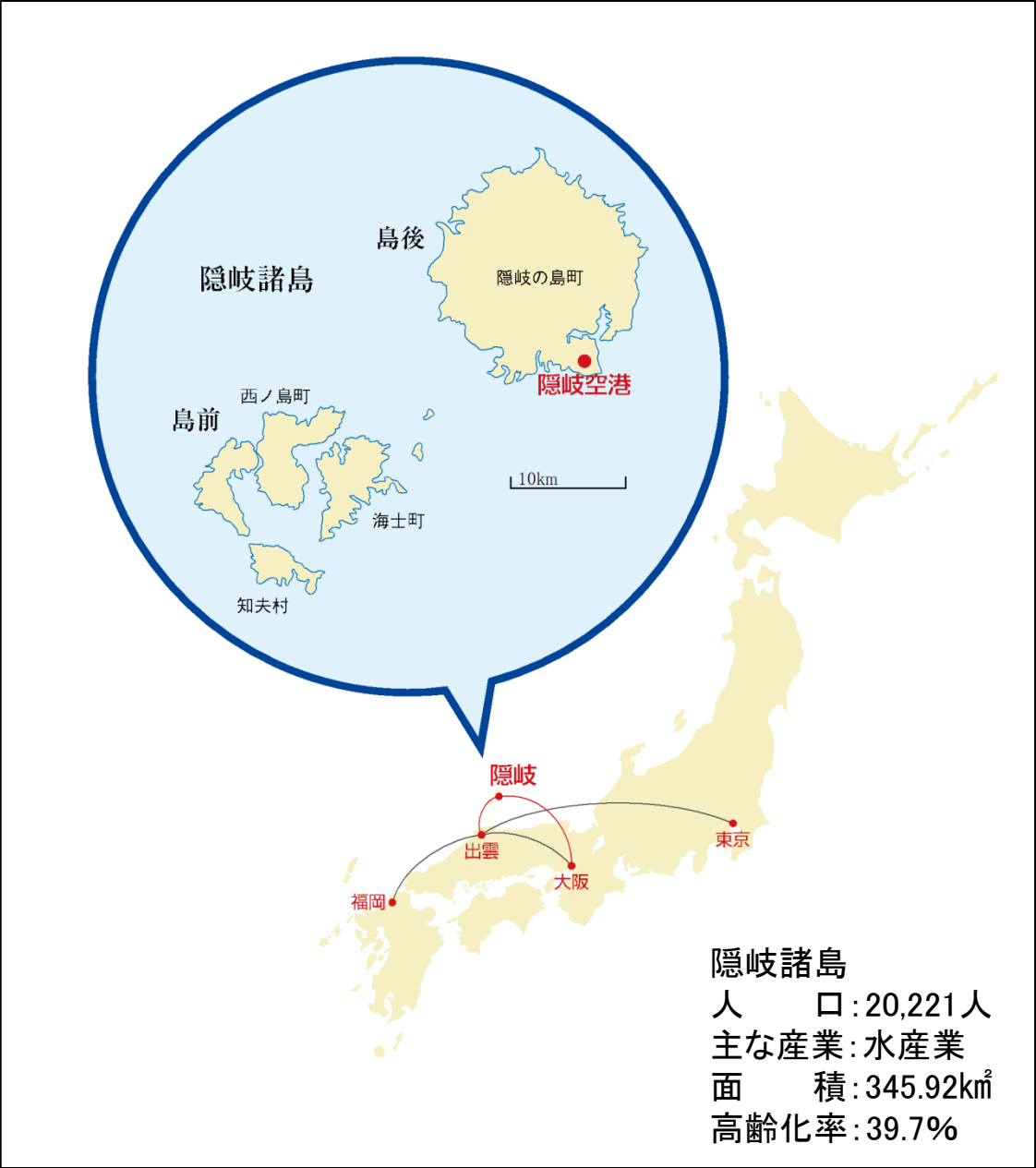
【現況】

- ・隠岐島と最も日常拠点性を有する地点を結ぶ路線(30分)
- ・代替交通機関(船舶)

隠岐の島町: 西郷港～松江市: 七類港(約2時間30分)

- ・自治体負担額 平成27年度 島根県 1,359千円  
隠岐の島町 1,359千円

## 事業実施区域



SAAB340B型機(36人乗り)



## 隱岐空港

設置管理者: 島根県

滑走路 : 2,000m × 45m

供用開始 : H18.7.6(2,000m滑走路)

運用時間 : 9:00~17:00